

はじめに	1
パソコンの基本操作の確認	2
1 マウスの3つの基本操作	2
2 アプリケーションの起動	3
3 ウィンドウの扱い方	4
4 ウィンドウの名称	5
5 ウィンドウの最大化	6
6 ウィンドウの最小化	8
7 ウィンドウのサイズ変更	9
8 ウィンドウの移動	12
第1章 入力に便利な機能を使おう	1
レッスン1 日本語入力の基礎の確認	2
1 言語バーの役割	2
2 日本語入力システムのオンとオフ	3
3 ローマ字入力とかな入力	4
4 日本語入力の手順	4
5 漢字への変換	5
6 ファンクションキーを使用した変換	5
7 文字の削除と訂正	6
レッスン2 読めない漢字の入力	7
1 手書き入力	7
レッスン2のまとめ	10
レッスン3 よく使う単語の登録	11
1 単語の登録	11
2 登録した単語の確認	15
3 登録した単語の削除	16
レッスン3のまとめ	17



レッスン4 記号を入力してみよう	18
1 変換を利用した記号の入力	18
2 キーボードに表記された記号の入力	19
3 かっこの入力	20
レッスン4のまとめ	21

レッスン5 辞書機能の紹介	22
1 郵便番号で住所変換	22
2 設定画面の確認	22
レッスン5のまとめ	24

## 第2章 ファイルって何？ フォルダーって何？ 25

レッスン1 ファイルを作ってみよう	26
1 名前を付けて保存 Word	26
2 名前を付けて保存 ペイント	28
3 保存されたファイルの確認	30
レッスン1のまとめ	35

レッスン2 フォルダーを理解しよう	36
1 フォルダーとは	36
2 フォルダーの作成	37
3 ファイルの分類	39
レッスン2のまとめ	41

レッスン3 いろいろな保存場所	43
1 ドキュメント	43
2 ピクチャ	44
3 ミュージック	45

## 第3章 パソコンの中の整理整頓 47

### レッスン1 ウィンドウ操作を確認しよう 48

- 1 複数ウィンドウの表示 48
- 2 ウィンドウの切り替え 50
- 3 ウィンドウを閉じる 51
- レッスン1のまとめ 52

### レッスン2 ウィンドウを並べてみよう 53

- 1 右クリック 53
- 2 ウィンドウを左右に並べて表示 54
- 3 ウィンドウを上下に並べて表示 55
- レッスン2のまとめ 57

### レッスン3 ファイル表示を変更しよう 62

- 1 写真フォルダーを開く 62
- 2 画像表示の変更 63
- 4 スライドショー 66
- レッスン3のまとめ 67

### レッスン4 写真を整理してみよう 70

- 1 フォルダの作成 70
- 2 写真の整理 73
- 3 フォルダ名の変更 79
- 4 フォルダをピクチャへ戻す 80
- レッスン4のまとめ 81

### レッスン5 写真を削除してみよう 82

- 1 ファイルの削除 82
- 2 フォルダの削除 83
- 3 ごみ箱から戻す 84
- 4 ごみ箱を空にする 86
- レッスン5のまとめ 87

## 第4章 メディアに保存してみよう \_\_\_\_\_ 89

### レッスン1 メディアって何? \_\_\_\_\_ 90

- 1 メディアとは \_\_\_\_\_ 90
- 2 USB メモリ \_\_\_\_\_ 91
- 3 CD-R/RW \_\_\_\_\_ 92
- 4 DVD \_\_\_\_\_ 92
- 5 外付けHDD \_\_\_\_\_ 94

### レッスン2 CD-Rに書き込んでみよう \_\_\_\_\_ 95

- 1 写真フォルダーの容量の確認 \_\_\_\_\_ 95
- 1 CD-Rの書き込み \_\_\_\_\_ 96
- 2 書き込みの確認 \_\_\_\_\_ 99
- レッスン2のまとめ \_\_\_\_\_ 101

### レッスン3 USBメモリを使ってみよう \_\_\_\_\_ 102

- 1 USBメモリ \_\_\_\_\_ 102
- 2 空き容量の確認 \_\_\_\_\_ 104
- 3 USBメモリに右クリックでコピー \_\_\_\_\_ 105
- 4 USBメモリを確認 \_\_\_\_\_ 106
- 5 USBメモリにドラッグでコピー \_\_\_\_\_ 107
- 6 USBメモリからデータを削除 \_\_\_\_\_ 108
- 7 USBメモリの取り外し方 \_\_\_\_\_ 109
- レッスン3のまとめ \_\_\_\_\_ 110

#### 製品名の記載について

このテキストでは、次の略称を使用しています。

- Microsoft® Windows 7 .....Windows 7 または Windows
- Microsoft® Office Word 2007 .....Word2007 または Word
- Microsoft® Office IME 2007 .....IME2007 または IME

#### テキストの開発環境

- OS .....Microsoft® Windows® 7
- アプリケーションソフト .....Microsoft® Office Standard 2007

# はじめに



パソコンを便利な道具として使いこなすためには基本が大切です。マウスを思い通りに動かしたり、ウィンドウを使いやすい大きさに調整したりできますか？

レッスンのはじめにマウスとウィンドウの基本操作を確認しましょう。

## パソコンの基本操作の確認

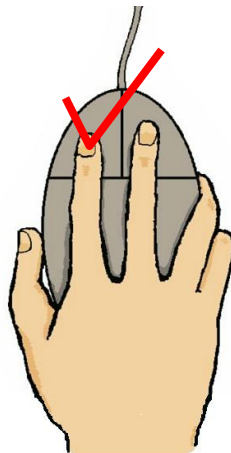
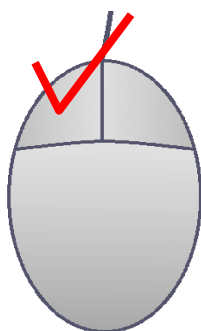
パソコンはおもに「マウス」という装置を使って命令を与えます。マウスには「クリック」「ダブルクリック」「ドラッグ」の3つの基本操作があります。

正しい持ち方を覚えて、肩の力を抜いて楽に動かすことが、マウスをうまく使いこなすためのコツです。

### 1 マウスの3つの基本操作

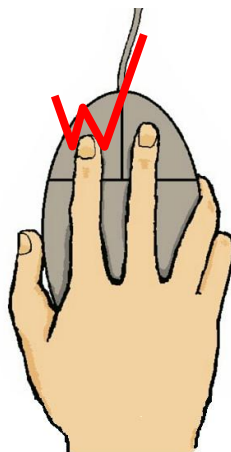
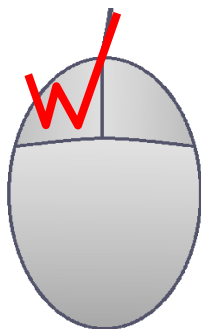
#### ● クリック

左ボタンを1回押して離します。  
プログラムやメニューを選ぶ時に使います。



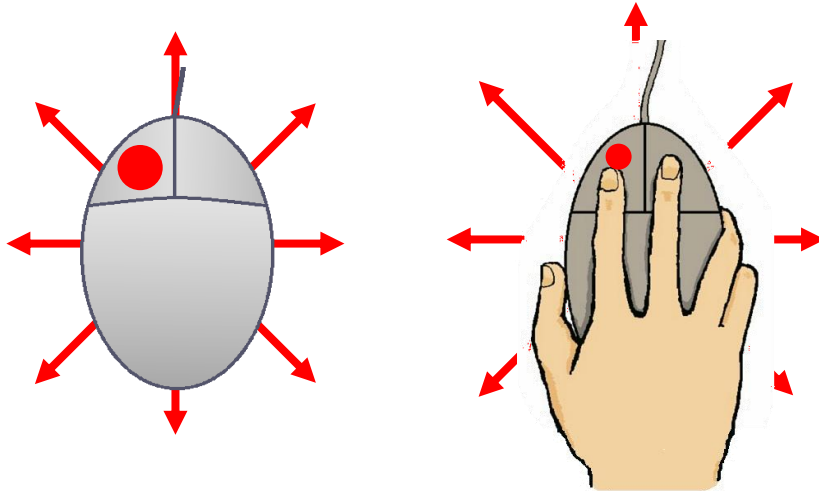
#### ● ダブルクリック

左ボタンをすばやく2回押して離します。  
ファイルやフォルダーを開いたり、プログラムを起動したりする時に使います。



**● ドラッグ**

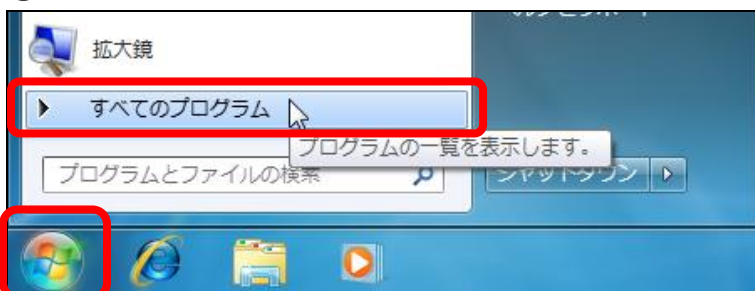
左ボタンを押したままマウスを移動します。  
何かを移動させる時に使います。



## 2 アプリケーションの起動

プログラムを呼び出すことを「起動」といいます。  
ここでは Word を起動して画面を確認してみましょう。

- ① 【スタート】をクリックします。
- ② 【すべてのプログラム】にマウスポインターを合わせます。

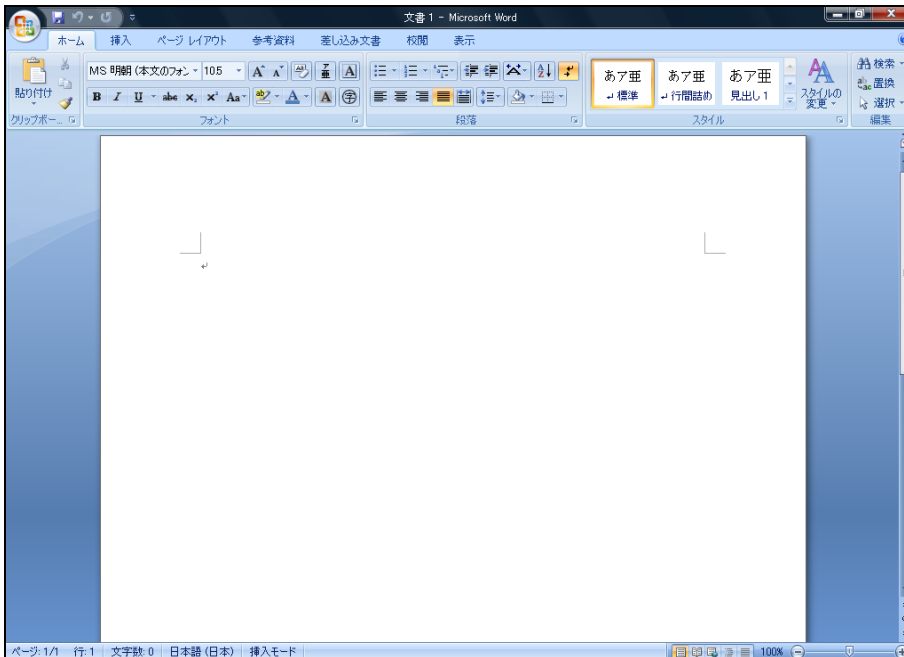


- ③ 【Microsoft Office】をクリックします。。
- ④ 【Microsoft Office Word 2007】をクリックします。



# Windows はじめに ステップ1

⑤ Word が起動します。



## 3 ウィンドウの扱い方

アイコンをダブルクリックしたり、プログラムを起動したりすると出てくる四角い枠のことを「ウィンドウ」といいます。壁に窓（ウィンドウ）が開いているように見えることから、ウィンドウと呼ばれています。

ウィンドウは種類やデザインに違いがあっても、以下のような特長があります。

- 表示位置や大きさが自由に変更できる。
- そのウィンドウが何を表示しているかを示すタイトルバーがある。
- ウィンドウを閉じるためのボタンや、画面一杯に広げるためのボタンなどがウィンドウの右上隅に配置されている。

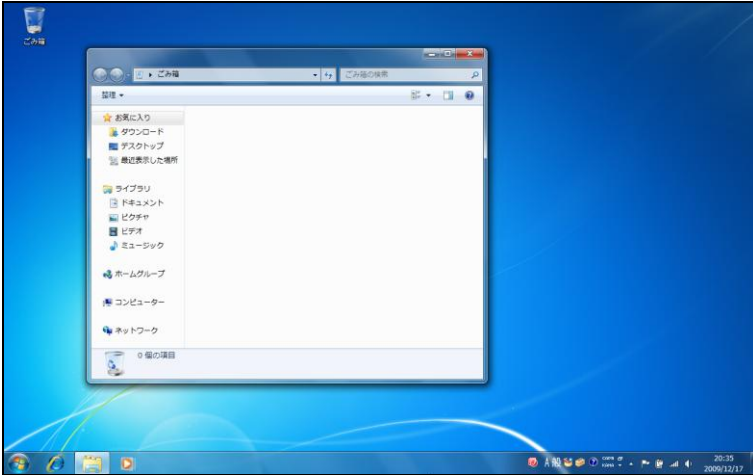
ウィンドウ操作を確認しましょう。



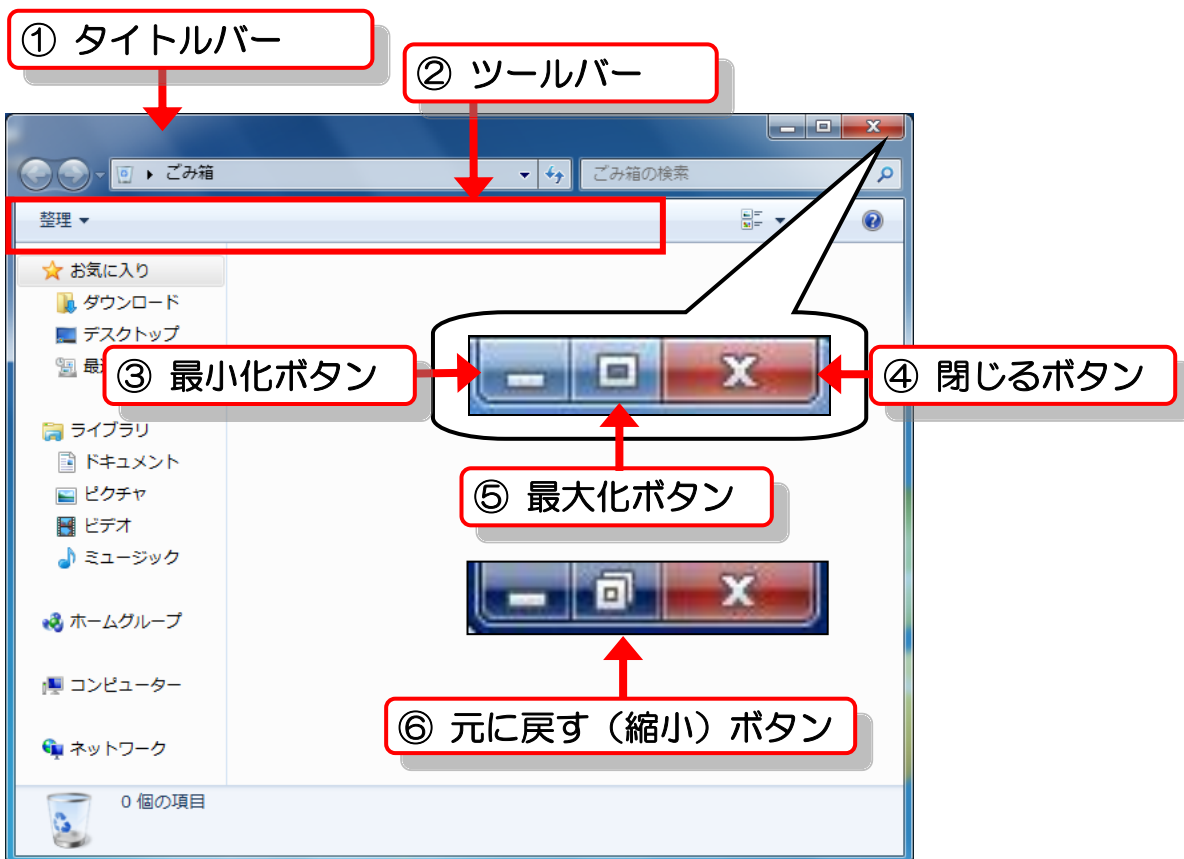
## 4 ウィンドウの名称

ごみ箱アイコンをダブルクリックして、ごみ箱のウィンドウを開いてみましょう。

- ① 【ごみ箱】アイコンをダブルクリックします。
- ② 【ごみ箱】ウィンドウが開きます。



各部位の名称と役割を確認しましょう。



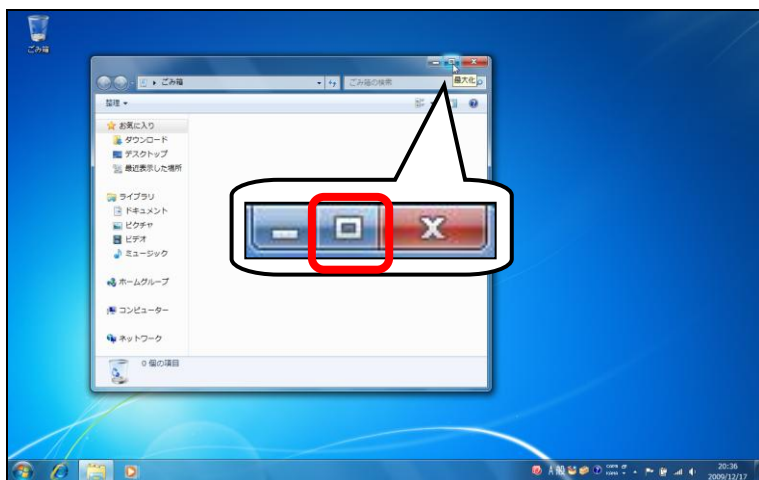
## Windows はじめに ステップ1

- ① タイトルバー…… アプリケーションの名前やファイル名が表示されています。タイトルバーをドラッグすると、ウィンドウの移動ができます。
- ② ツールバー…… メニューをクリックすると、そこでできる操作のコマンド（動作を実行させる命令）が表示されます。
- ③ 最小化ボタン…… ウィンドウを一時的に非表示にします。画面の一番下にボタンとして表示されるイメージです。
- ④ 閉じるボタン…… クリックすると、ウィンドウを閉じたり、アプリケーションを終了したりします。
- ⑤ 最大化ボタン…… ウィンドウがディスプレイ画面よりも小さい場合に最大化ボタンをクリックすると、画面一杯の大きさになります。
- ⑥ 元に戻す（縮小）ボタン  
最大化すると、ボタンは〔元に戻す（縮小）〕ボタンに変わります。そのボタンをクリックすると最大化される前のウィンドウサイズになります。

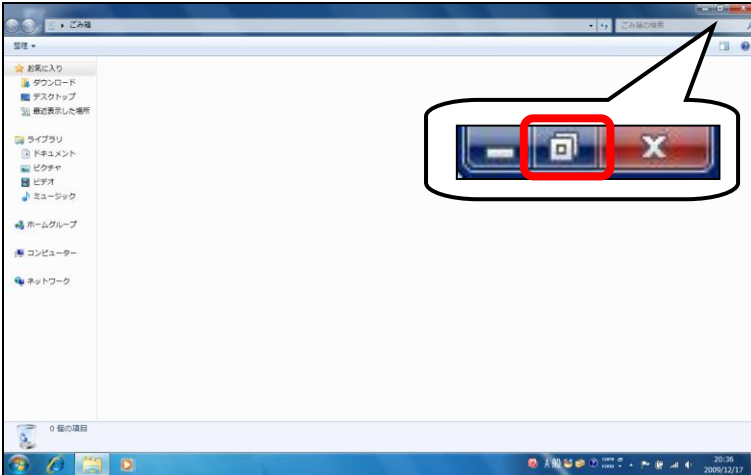
## 5 ウィンドウの最大化

ウィンドウは一度で画面全体に大きく広げることができます。  
【最大化】を使います。

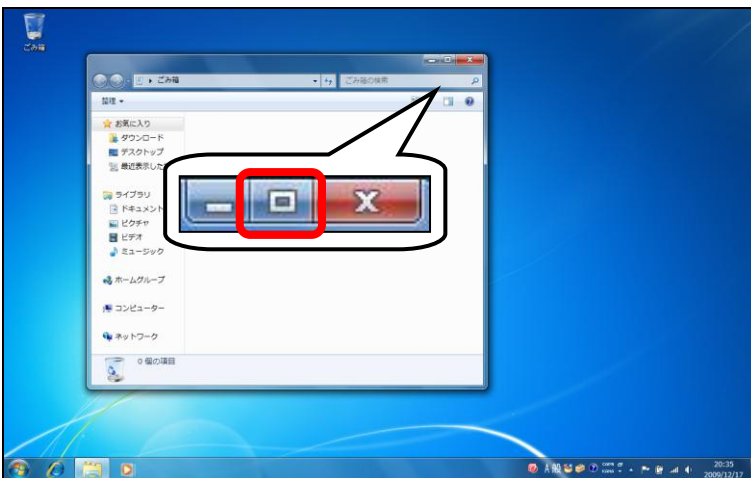
- ① 【最大化】をクリックします。



- ② 【ごみ箱】 ウィンドウがデスクトップ全体に表示されます。
- ③ 【最大化】 が【元に戻す (縮小)】 に変わります。



- ④ 【元に戻す (縮小)】 をクリックします。
- ⑤ ウィンドウサイズが最大化する前のサイズで表示されます。

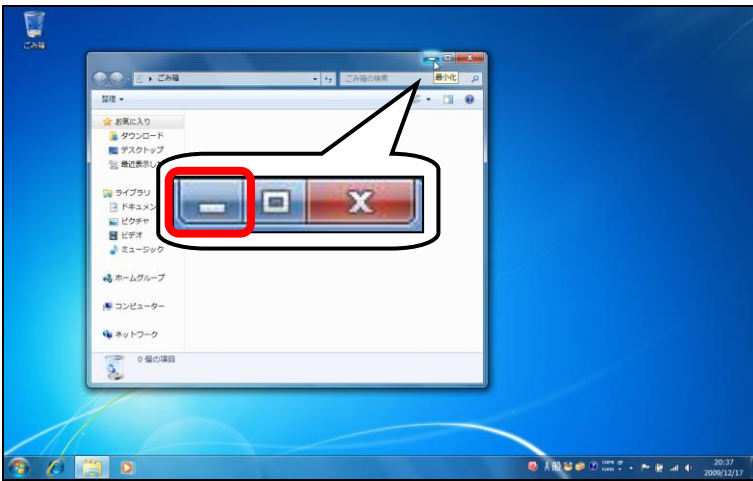


- ⑥ 【元に戻す (縮小)】 が【最大化】 に変わります。

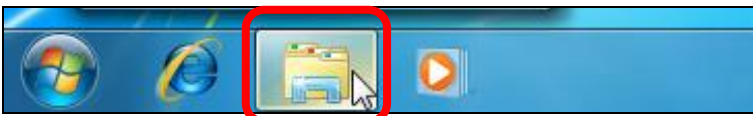
## 6 ウィンドウの最小化

ウィンドウは一度で一番小さいサイズにすることができます。  
【最小化】を使います。最小化されたウィンドウはタスクバーの【エクスプローラー】というフォルダーアイコンに格納されます。ウィンドウを閉じたわけではないので、再び表示してすぐに操作を続けることができます。

- ① 【最小化】をクリックします。



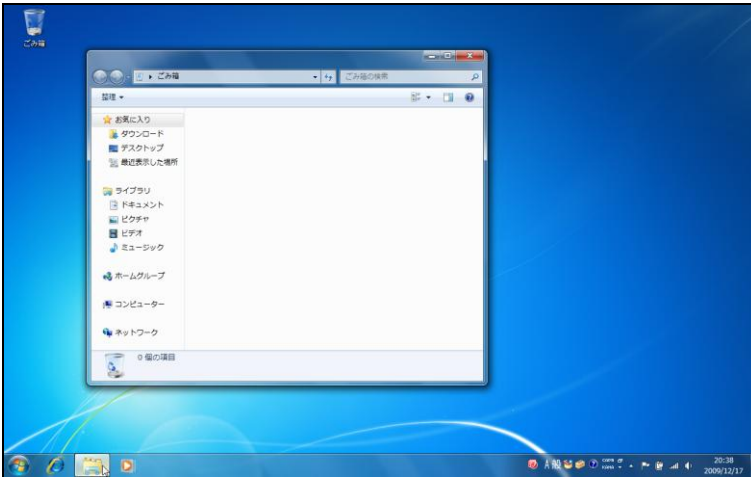
- ② 表示されていたウィンドウが、一時的にタスクバーの【エクスプローラー】に格納されます。



- ③ 最小化したウィンドウを復元する場合は、タスクバーの【エクスプローラー】にマウスポインターを合わせ、表示される縮小表示の【ごみ箱】をクリックします。

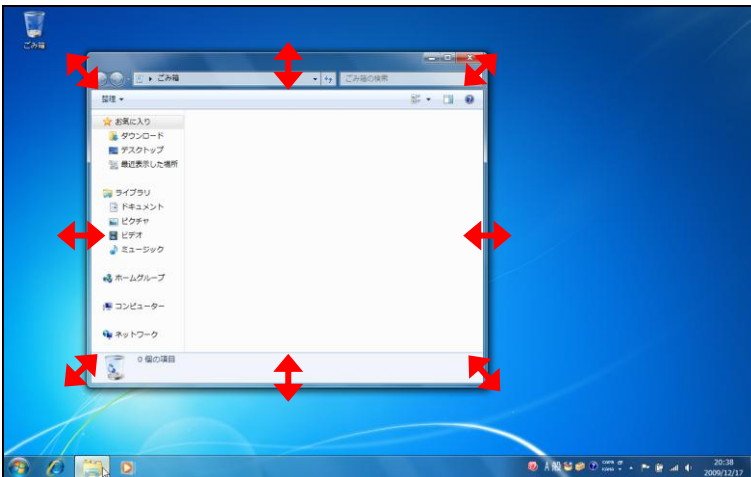


④ ウィンドウが表示されます。



## 7 ウィンドウのサイズ変更

ウィンドウの外枠にマウスポインターを合わせるとマウスポインターの形が変わります。両向き矢印の形でドラッグするとウィンドウのサイズを自由に変えることができます。

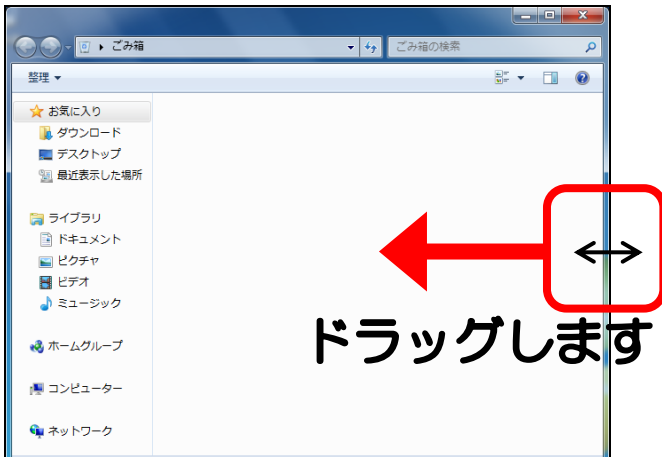


### ● マウスポインターの形

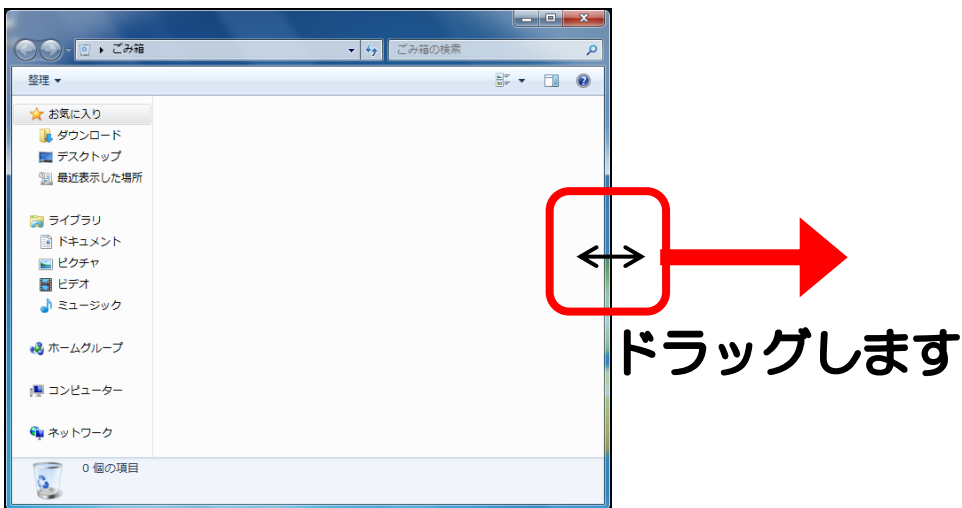
↔	横方向の拡大・縮小
↕	縦方向の拡大・縮小
↖↗	縦横を一度に拡大・縮小
↘↙	

## Windows はじめに ステップ1

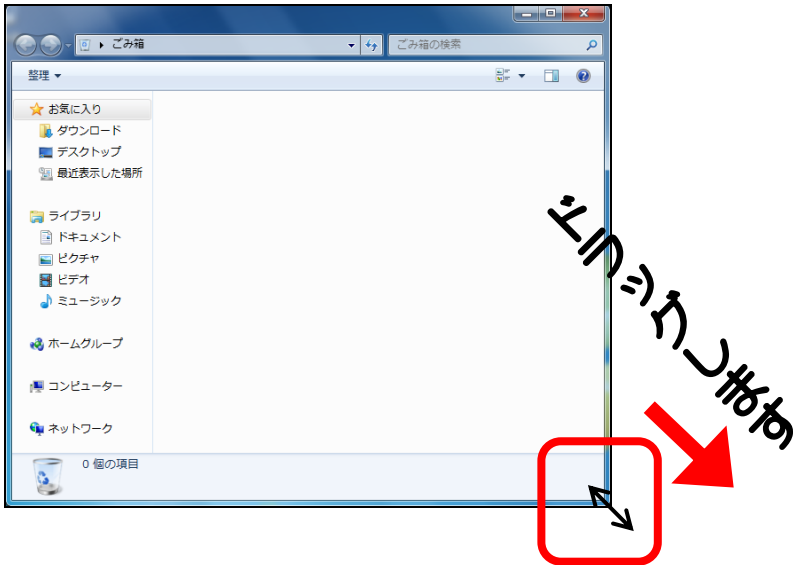
- ① ウィンドウの幅を狭めます。ウィンドウの外枠にマウスポインターを合わせ、両向き矢印の状態で左方向へドラッグします。



- ② ウィンドウの幅を広げます。ウィンドウの外枠にマウスポインターを合わせ、両向き矢印の状態で右方向へドラッグします。

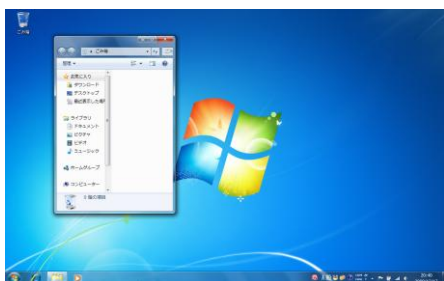
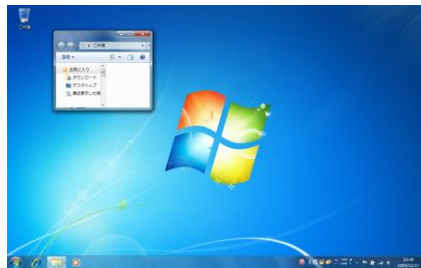
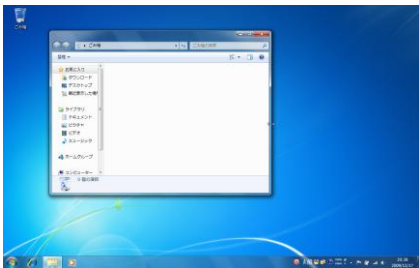


- ③ 縦横を一度に広げます。ウィンドウの外枠にマウスポインターを合わせ、両向き矢印の状態で右下方向へドラッグします。



- ④ ウィンドウはドラッグの操作で自由にサイズを変えることができます。

名刺大



はがき大

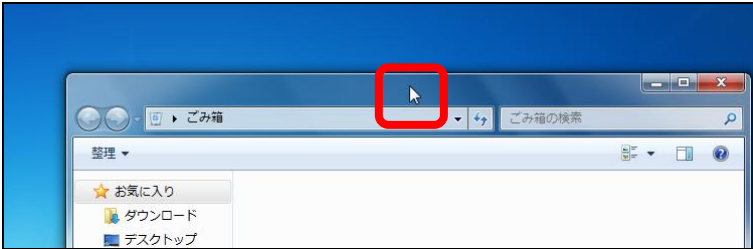


横長封筒大

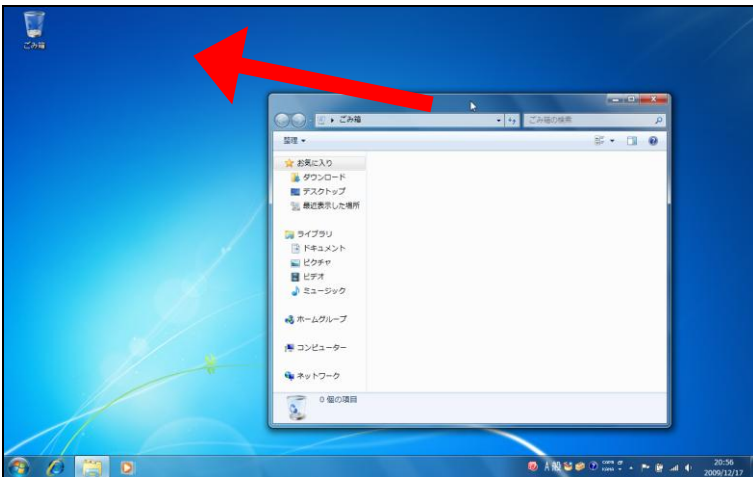
## 8 ウィンドウの移動

ウィンドウは自分の好きなところへ移動することができます。

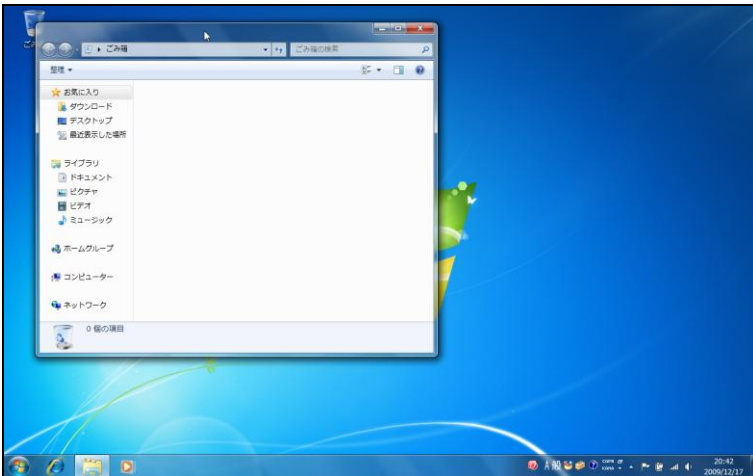
- ① 【ごみ箱】ウィンドウのタイトルバーにマウスポインターを合わせ、ドラッグします。



- ② 目的の場所までドラッグしたら、マウスから指を離します。



- ③ ウィンドウが移動します。





# 第 1 章

## 入力に便利な機能を使おう

読みが分からない漢字を探す方法や、よく使う単語の登録など、入力のための便利な機能を確認しましょう。

レッスン 1 日本語入力の基礎の確認



レッスン 2 読めない漢字の入力



レッスン 3 よく使う単語の登録



レッスン 4 記号を入力してみよう



レッスン 5 辞書機能の紹介

## レッスン1 日本語入力の基礎の確認

日本語入力の基礎を確認しましょう。

パソコンに文字を入力するには、「日本語入力システム」というプログラムを利用します。Windows 7には「MS-IME 2007」（エムエス・アイエムイー）という日本語入力システムがあります。MS-IME 2007の設定は「言語バー」で行います。

### 1 言語バーの役割

IME 2007の設定は言語バーの各ボタンをクリックして行います。言語バーは通常デスクトップの右下の位置に表示されます。

